

cTnI3

トロポニンキット

トロポニン(Tn)複合体は、トロポミオシン、アクチンとともに横紋筋筋原繊維の細い繊維（太い繊維：ミオシン）を構成しており、トロポミオシンに沿って間隔をおいて並ぶ小球状の分子です。

Tn複合体はトロポニンI（TnI、分子量約23,500）、T（TnT、分子量約37,000）、C（TnC、分子量約18,000）の3つの蛋白質サブユニットから構成され、TnTはトロポミオシンとの結合、TnCはカルシウム結合、TnIはミオシンとアクチンの相互作用抑制をつかさどっています。

その中でTnIは心筋および骨格筋の速筋、遅筋の3種のアイソフォームが存在し、アミノ酸配列がそれぞれ異なることから、心筋トロポニンI（cTnI）は高い心筋特異性を有しています。

心筋が障害を受けるとcTnI-C-T、I-C、Tなどの形でcTnは血中に逸脱します。cTnIは急性心筋梗塞（AMI）発症後3～4時間で異常値を示し、10～16時間でピークに達した後、異常高値は5～8日間持続します。

MYO（ミオグロビン）やCK-MBと比較しカットオフ値からの変動が非常に大きい（健常者では基本的に検出されないレベル）ことから、微小心筋壊死も鋭敏に検出可能です。また、心不全患者におけるcTnI高値は潜在性心筋壊死の存在を示唆し、予後予測にも適用が進められています。

仕様

試薬構成

免疫反応試薬	Eテスト「TOSOH」II（cTnI3）	（100テスト／箱）
標準品	Eテスト「TOSOH」II（cTnI3）標準品セット	（6濃度、各2本／箱）
検体希釈液	Eテスト「TOSOH」II（cTnI3）検体希釈液	（4mL x 4本／箱）

対象検体種 血清、ヘパリン血漿、EDTA血漿

測定時間 免疫反応時間 10分（1ステップサンドイッチ法） 結果報告 約20分

測定範囲 0.02～50 ng/mL

健常人参考値 ≤0.04 ng/mL（社内データ、99パーセンタイル値）